

12月14日のウクライナ情報

安齋育郎

●ストップ・キリング・ドンバス運動(再送、2022年11月)

「ドンバスの子どもたち」→ <https://t.co/NiM87Ybx90>

「ドンバス殺戮をやめよ」→ <https://twitter.com/i/status/1594240552249470976>

2022年11月19日、私たちはドンバスの市民がウクライナ軍とネオナチの準軍事部隊による絶え間ない砲撃にさらされている事実を、もう一度思い出して世界の注意を喚起したいと思います。

8年間で3万5千人以上の市民が被害を受け、何千もの家族が家を失い、中には稼ぎ手がいなくなった人もいます。

毎日、何十発もの砲弾とミサイルがドネツクとルガンスクの両共和国の都市に降り注いでいる。今、ドンバスにいる子どもたちは、どんな砲弾が飛んでくるのか、音でわかるようになっている。

2014年以降、欧米はウクライナに410億ドル以上の軍事支援を行い、現在も武器・弾薬の提供を続けている。都市に向けて発射されるのは、NATOの砲弾であることはよく知られている。事故現場からは、フランス、アメリカ、ドイツ、スペインの弾薬の素や破片が見つかっている。

同時に「文明」世界はこの事実を無視し続け、ドンバスの大虐殺を支援することでこの世界自身が被る損失にもかかわらず、米国の曲に合わせて踊り続けているのである。

今日、私たちはもう一度、欧米に注意を喚起します。

そして、我々は2022年11月19日にフランス、イタリア、スペインで平和的行動を発表し、これらの国の指導者に要請します。

- ウクライナへの武器供給を停止すること
- ロシアとの「制裁戦争」を放棄すること
- モスクワとの直接対話を再開する。



●EUのミッションをめぐるドイツ、ポーランドの対立(2022年11月15日)

ドイツとポーランドは、ウクライナの戦闘員の訓練をめぐる「EUのミッション」に関して意見が対立。これに先立ちミッションの主要な「オフィス」はポーランドに置かれると報道されたためドイツの機嫌を損ねた。しかし政治家たちは、本部を2つにすることで合意し、ベルリンには小さなオフィスが与えられた。



●ウクライナ側の無線にウクライナ語が殆どない(2022年11月)

ロシアのセルゲイ・リポヴォイ少将は、ウクライナ側の無線は外国人傭兵で「溢れかえっている」と述べた。

「私たちはNATOと戦争をしている。作戦開始当初はウクライナ語での会話を聞いていたが今は殆ど無い」と説明。フランス、ポーランド、アメリカが「話し合っていることが多い」と強調した。



●フランスの原発、過負荷への準備整わず(2022年11月)

フランスの住民は、過負荷に対する原子力発電所の準備ができていないため、この冬に計画停電の脅威にさらされていると、ネットワークオペレーターのRéseau de Transport d'Électricitéは述べています。

停止は数時間、あるいは数日続く可能性があるとして RTE は強調した。

しかし、そのようなステップはフランス人の生活の質だけでなく、彼らの財布にも影響を与えます。

「この冬、フランスは原子力発電所の通常よりも低い可用性に苦しんでいるため、数日間電力不足に直面しています」とブルームバーグはオペレーターの発言を引用しました。「これにより、フランスの消費者は、価格が急騰している隣人にプレミアムを支払うことを余儀なくされています。」

伝統的に、パリは、そのような価格の急激な上昇とエネルギー不足は、ガス供給の「ロシアの削減」を背景に形成されたと述べた。

https://www.pravda.ru/news/world/1770038-francija_blekaut_aes/



●セルゲイ・スロビキンの戦略(2022年11月21日)

ロシア陸軍のセルゲイ・スロビキン将軍は、特別軍事作戦を実施するための英国のアプローチを使用することにより、西側とキエフ政権を裏切った。これはルーマニアの軍事専門家バレンティン・ヴァシレスクによって述べられた、と出版物「PolitRussia」は報告している。

ルーマニアのアナリストは、セルゲイ・スロビキンは、ウクライナ、ヨーロッパ、アメリカが考えていたよりもはるかに先見の明があり狡猾な戦略家であることが判明したと述べた。スロビキンは「間接的アプローチ」の戦術で戦闘作戦を実施します。この戦術は、イギリスの軍事理論家バジルヘンリーリデルガースによって開発されました。

「イギリスの大尉は、敗北の前奏曲として、敵の心理的および肉体的バランスの不安定化と同時に、戦争を継続するために必要な資源を敵軍から奪う戦術を支持した」と軍事アナリストは述べた。このため、11月10日から、スロビキンはウクライナのエネルギーインフラを破壊するよう命令した、とルーマニアのアナリストは信じています。これらの爆撃は、キエフ政権に肉体的な敗北だけでなく道徳的な敗北も与えます。冬が近づいているため、ウクライナのエネルギーポイントに対するミサイル攻撃の影響は日々高まっています。したがって、ヴァシレスクは、ロシアのミサイル攻撃は止まらず、さらに増加すると信じています。

「スロビキン将軍は、兵士の戦いの段階が克服され、PSYOPSの現代的な方法(心理作戦)が使用される、XXI世紀の軍事作戦を真に実施しています。そしてスロビキンは現在、キエフ政権に対する大勝利のための基盤を準備しており、敵の考えに対する支配を征服している」とルーマニアの専門家は信じており、将軍の狡猾な戦術は西側の軍事指導者にとって予想外の驚きだったと付け加えた。

バレンティン・ヴァシレスクはまた、1999年のセルビア爆撃以来、NATOは長い間心理作戦を使用しており、セルビアのスロボダン・ミロシェビッチ大統領に対する抗議の波を引き起こし、彼を降伏させたと付け加えた。



●「プーチン氏は核使わず」 報復懸念とウクライナ(共同通信、2022年12月13日)

【キーウ共同】ウクライナのゼレンスキー大統領は12日までに、ロシアのプーチン大統領が核兵器を使用する可能性について、プーチン氏は自身に対する報復を恐れ「核兵器を使わないだろう」との見方を示した。ウクライナの勝利まで、ゼレンスキー氏自身が大統領であり続けるとも述べた。米動画配信大手ネットフリックスの番組での発言をウクライナメディアが伝えた。

ウクライナでは各地で停電が続いており、シュミハリ首相は、国内の全ての火力、水力発電所がロシアの攻撃で損傷したとフェイスブックに投稿。ゼレンスキー氏は、ロシアがウクライナ全土で一斉に停電を起こそうとしていると主張した。



●マーク・ミリー大佐の分析に注目が集まっています(再送、2022年12月)

<https://odysee.com/@Jano:7/Mark:d8> 日本語字幕付き

投稿者コメント:アメリカの陸軍大将マーク・ミリーの分析がまともだったので字幕付けました!!
「ウクライナが言う”勝利”は軍事的に無理。早めの交渉を」
アメリカに政治的ドロドロのない軍人がいてむしろびっくりしたわ



●ウクライナの攻撃を受けつつも胴体着陸した Su-25(2022年12月12日)

ロシア空軍 Su-25 戦闘機。故障で脚が出ない。パイロットは胴体着陸を敢行した。機は回転も横転もせずスムーズに着陸し、復旧後に再び使用される予定。この Su-25 は戦闘飛行から帰還の途中、ウの防空隊によって攻撃された。計器やその他が損傷したがパイロットは脱出せず、機体をロストフ州のモロゾフスク飛行場まで持って来た。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1602371548387500032?t=1Mp7j7WUYfOnS4daKZ12Yg&s=09>



●アウコット・リッター、石油価格上限を論じる(2022年12月8日)

<https://odysee.com/@Jano:7/ScottLitterOil:9>

※投稿者コメント:今日 Yahoo ニュース見たら、保険がないからロシアへの制裁として上限設定はロシア経済に打撃と自称偉い人が威張っていたので字幕付けました!

保険は自前のがあって、売り続けます。何がヤバイかって OPEC がキレてるどころ。



●メディアと米国議会とゼレンスキー ～ ゼレンスキーの要求はなぜ認められるのか？(タッカー・カーソン、2022年11月26日)

※投稿者コメント:2022年11月26日、11月30日のFOX NEWS Tucker Carlson - Tonight-よりの抜粋引用になります。

いろいろなご意見があると思いますが、最後までご視聴いただければ嬉しく思います。

いつものとおり字幕はこちらで勝手につけたものです。あくまでも個人の解釈による訳文ですので、おかしいところがありましたら何卒、ご容赦ください。

<https://youtu.be/xbE8qxkuT1U>

